

書初め 2016

## 行事レポート

行事名： **書初め**

開催日： **2016年1月9日、1月16日**

開催場所：第二保護者室、幼児1,2は自教室（水習字）

担当者： 浅野(ゆ)、浅野(か)、イングラム、矢野、竹内、大竹、ダルグリッシュ、水野、笠井、岩本、稗田、ハリヤピン、小澤（リーダー）、鈴木（リーダー）

準備開始時期： 2014年11月7日（在庫調べ）

### **内 容：**

- 第一回ミーティングを2014年12月5日に行った。前もって教材室に保管されている前年度の在庫を調べ、半紙の購入をきめた。（ミーティング議事録参照）
- 半紙を購入し、ミーティングの翌々週に半紙を5枚ずつ組む作業を行った。
- 書道の道具が25セット用意できるので、各クラスの人数を役員に確認し、合同にするクラスを決め、時間割を作った。
- 前年度を参考にして、お手本と合わせて、幼児・児童クラス、成人クラスの各教員へ連絡し、了解をとった。  
→11月末～12月初旬
- 保護者宛にお知らせを作成し、役員を通して一斉メールにて連絡した。→12月中旬（朝の会にて口頭でも保護者に行事についてと持ち物服装の注意などを知らせた。）
- 保護者へのお知らせは年明けにも再度役員から送ってもらうように事前に依頼し、幼児・児童クラス、成人クラスの各教員にリマインダーメールを送った。
- 当日の流れをメールにて担当者へ送った。→ミーティング議事録参照

### **反省点：**

- 新聞紙ではなくシートを床に敷くことで、準備、片付けが効率よく行われた。
- 第一日目は、生徒数も多く慌ただしかったが、二日目の予定の二人の係の方が手伝ってくれたので、時間内に片付けを終えられた。
- 集合時間を9時30分くらいに早めた方が余裕をもって準備できたのではないかな。
- 硯と筆の洗浄には、控室内の水道が利用できたので移動の手間が省けた。
- 水習字用の筆が一週目使用後に容器に保管されていたため、二週目にかびていたものがあった。二週目の使用後も、まとめて包んだため、よく翌週にまたかびていた。→小分けして筆先を包みから出して保管すること。

- 手本の数を確認していなかったため、例年と違う言葉を選んだクラスの手本が足りなかった。
- 写真係りが幼児 1 クラスの水習字の時間配分をしていたため、終了時間に用紙が乾ききれていないものがあった。二週目には幼児 2 の先生方に、前半に水習字をして用紙を乾燥させるようようをお願いした。
- 成人クラス、児童クラスの生徒にも持ち方指導が必要なのでは。
- 成人クラスの生徒で、半紙が下敷きの下にあることに気が付かない生徒が多々いたため、先生が説明不足の時には係りが手伝ったほうが良いのでは。
- 新聞紙を持参してこない生徒が多数いたため、こちらで余分に用意すること。
- 第一日目の時、生徒に至近距離で撮影している写真係りがいて、作業に少し邪魔だった。

### 今後の改善点および提案

- 係りの人数の割り振り：学年、人数によって調整する。
- 成人 1 用に、大人向けのひらがなの言葉、または簡単な漢字の言葉の手本を用意する。
- 成人クラスには手本を前もって知らせた方が、書き順などの練習ができるのではないか。
- 水習字について、新任の先生の場合、取り扱いについてあらかじめ説明する。（水で濡らし過ぎると破れやすくなり、乾かすにも時間がかかるため。）
- 筆の扱い方を知らない生徒には、手を添えて指導ができれば。（余裕があれば）
- 例年とは違う手本を使うときには手本の数を要確認すること。
- 予算に余裕があったら、文鎮もそろえたほうが、よりフォーマルになって良いのでは。
- 役員、写真係りより、自教室で行う水習字も時間を取り決めたほうが良いのではとの意見があった。
- 硯を洗う用にスポンジの購入を検討してはどうか。
- 来年度のリーダー候補：小澤さん、飯田さん

### 支出：

半紙 100 枚入り 5 部 X 5 \$

備品（テーブルクロス 5 枚、使い捨て手袋 1 パック、使い捨てコップ 1 パック）

日本から、筆 40 本、水習字用シート 30 枚、計 9032 円 (94.50CD\$)

合計：132.83 \$

### 在庫（1月6日調べ）：

文鎮 17 本

硯 25 面

下敷き 31 枚

スポイト 1 こ

墨汁 10 本

水習字用筆 45 本

細筆 25 本以上

太筆 25 本以上

**半紙** → **要確認**

以上